

県内各地で進む「青森県型地域共生社会」の実現に向けた取組事例

社会福祉法人、社会福祉協議会、住民など地域の担い手との連携強化（大鰐町）

＜令和3年度の中南地域の取組について＞

地域の担い手として期待される社会福祉法人との連携強化を図るため、管内社会福祉法人の地域公益活動を調査し、関係機関との情報共有を図ることとした。

R 3.4月 地域連携部と令和3年度の取組について打合せ

社会福祉法人の地域公益活動の調査結果を受けて、管内の一地区を選定し、住民に「地域の暮らしに関するアンケート調査」を実施し、社会福祉法人、住民、行政による地域共生社会の実現に向けた勉強会を開催することとした。

7月 地域連携部と住民へのアンケート調査の実施地区について打合せ
→実施地区を大鰐町と決定した。

8月 社会福祉法人による地域公益活動に関する調査を実施
→管内社会福祉法人（111法人）、8市町村

9月 大鰐町において、住民にアンケート調査を実施
→実施地区（虹貝新田、九十九森）

12月 両調査結果を受けて、社会福祉法人、住民、行政により、地域で困っていること、地域でできることなど地域の助け合いをテーマに勉強会を開催した。

勉強会の様子
(九十九森公民館)

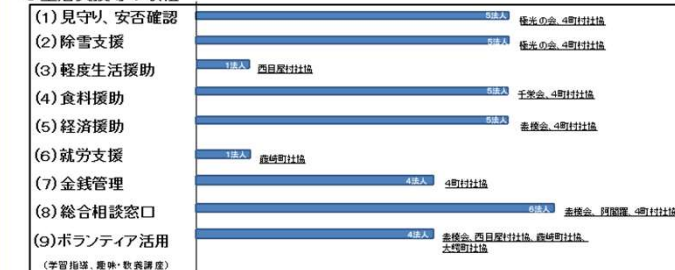


社会福祉法人の地域公益活動の調査結果

【Ⅱ. 調査結果の概要】

1. 具体的な取組項目

○生活支援等の取組



地域の暮らしに関するアンケート調査結果

地区の「困っている（不安に思っている）度」

